

# 高温熱分解炉用の加熱炉管(冷間曲げ)

エチレン製造設備の基幹装置である高温熱分解炉(ナフサやLPG・灯軽油・エタン等の原料を高温で分解しエチレン等の噴く製品を製造する装置)に使用される加熱炉管の冷間曲げ加工を行っています(熱間/冷間)。

この加熱炉管は高温で使用されるため高ニッケル・高クロム鋼管(内面フィン付き管もあり)や、遠心鑄造管等の高級材料が使われ、曲げ後の厳しい品質管理、寸法精度が要求されます。海外、国内の多くの客先に納入実績があり、DHFの経験と技術が生かされた製品です。

## 特徴

- ・曲げ後の品質管理が万全(曲げ部に液体浸透探傷試験実施等)
- ・曲げ後の寸法精度(偏平、平面度、曲げ角度、曲げ半径)が良い
- ・曲げ後の厳しい長さ公差に対応可能で、曲げ後に長さ揃えの切断・開先加工の必要が無く経済的
- ・曲げると割れが生じ易いと言われる遠心鑄造管も曲げが可能

## 製品の一例

ハリバートンKBR社、エクソンモービル社、ABBルーマスグローバル社型

...等の分解炉に使われています。



加熱炉管曲げ加工  
(冷間曲げ)



内面ヒレ管断面図